

施策マネジメントシート(平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成 27 年 6 月 30 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称	生活水道課
				課長	高橋 孝一
施策	17	水道の整備	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民			①安全な水道水の供給を安定して受けられる。	1 水道水の安定供給
			2 安全な水道水の供給	加入者	安全な水道水の供給を受けられる。
			3 水道事業の健全運営	加入者	適正な料金で水道水の供給を受けられる。
			4		
			5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	水道普及率	%	実績値	96.7	97.1	96.9	96.9		
目標値					96.7	96.7	96.7	96.7	96.7	96.7
B	有収率	%	実績値	77.9	78.0	78.0	78.0			
			目標値		78.0	78.4	78.8	79.2	79.6	80.0
C	水質に関する苦情件数	件	実績値	0	0	0	0			
			目標値		0	0	0	0	0	0
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A) 数値が高まれば、結果として町民が安全な水道水の供給を安定して受けられることに繋がるため成果指標とした。 給水人口/人口 決算統計による
	B) 数値が高まれば漏水がなくなるなど、安定した水道水の供給に繋がるため成果指標とした。 決算統計による
	C) 件数が減れば、町民が安全な水道水の供給を安定して受けられているといえるため、成果指標とした。 直接町に苦情を申し入れた件数

目標値設定の考え方	A) ある程度高い水準にあり、住民の中には水道水よりも自家水道(井戸水など)を希望する人がいることから今後大幅に数値を上昇させる必要性は低い。また、山間部に位置するという地形や財政面を考慮すると短期的に数値の向上は困難。【国平均:96.9%(H23)/97.7%(H25)、県平均:66.0%(H23)/99.5%(H25)】
	B) 今後人口の減少に伴って水道利用者は減少すると考えられ、水道会計を安定的に運営するためにも有収率の向上は不可欠。財政的な面を考慮すると数値を大幅に向上させることは困難であり、水上地区や新治地区の石綿管の更新を実施し、有収率を徐々に向上させる。【(上水道)国平均:91.5%(H23)/90.1%(H24)、県平均:84.1%(H23)/84.7%(H24)】
	C) 水道施設遠隔監視システムの導入や浄水場の取り入れ口に濁度計を設置するなど、水質に関する苦情を大幅に減少させた。しかし、根本的な解消が進んだわけではないため、自然災害の濁り等に対処できる体制づくりや安全で安定した水源を活用することで、安定的に苦情件数0件をめざす。 ※濁度は水源地が濁って、給水区域が給水不能となったことを表している。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①節水に努める。 ②水道を使用した場合は使用料を納入する。	①水量を確保し、水質を向上させる。 ②水道施設を整備・充実する。 ③水道事業を適正に運営する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①経営の観点からすれば、人口が減少すると水を使う人が減るため、水道料金の徴収額は上がらない。 ②平成26年度から公営企業の会計の仕組みが変わり、借入金が負債として計上されるようになるため、一般の企業と同様の方法で、経営状況を把握できるようになる。 ③平成28年度以降、すべてが上水道事業となるため、町は簡易水道の補助金を受けられなくなる。併せて過疎債も対象とならない見込み。 ④地区の組合で管理している水道の経営が困難になる。	①水道の安定供給(水圧・水質)を望む声があるが、毎年数件寄せられている。 ②下水道区域の水道料金については、下水道料金が上乗せになっているため、水道料金が高いという声がある。 ③近年、修繕工事等においてやむを得ず断水することがあるが、特に事業者からの断水件数(災害・事故・工事)を減らしてほしいという声がある。また、事後のアカ水発生、空気混入等の問題もある。多数の利用者が影響を受けるような修繕等は、水を止めずに行ってほしいとの声がある。

施策	17	水道の整備	主管課	名称	生活水道課
				課長	高橋 孝一

実績比較		背景・要因	
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①水道普及率は、平成25年度の96.9%から平成26年度は96.9%と横ばいで推移している。 ②有収率は、平成25年度78.0%から平成26年度の78.0%と横ばいで推移している。 ③水質に関する苦情件数は0になっているが、根本的な解消が進んだ訳では無いため、これから先も自然災害(大雨)に対処出来るような体制作りをしていく。 ④平成26年度の水道使用料収納率は97.4%と前年と比べると0.3ポイント高くなってきている。(5月末現在)
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①平成26年度の水道普及率は96.9%であり、平成25年度の全国平均97.7%や県平均99.5%と比較して低い。山間部で高低差があるため、平地に比べて整備率が低くなっている。ちなみに、沼田市の水道普及率は98.0%(H24)となっている。 ②平成26年度の有収率は、みなかみ町では78.0%であり、全国平均96.0%や県平均84.7%(H24)と比べ低い。特に水上地区で低く、有収率を向上させるために老朽化した石綿管等の布設替えを計画的に実施して行かなければならない。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①水道普及率は目標値どおりであった。 ②有収率は、漏水修理及び老朽管の布設替工事を実施し、現状維持を保った。 ③水道遠隔監視システムを平成24年度に町全体が一つの監視システムで監視が出来るようになり、職員全員が同じ形の維持管理(細かなチェック)が出来るようになり水道水維持管理が一定の基準により安定供給が出来る。
成果実績に対する取り組みの総括	①藤原簡水の老朽管布設替が、予定どおり300m完了した。 ②各地区の漏水対策工事を行った。 ③各施設のポンプ運転時間の把握を行い電気の使用料金の削減に向けた計画書を作成した。 ④旧水上地区を全面的に無線検針が出来るようにメーター器の購入及び取付作業を行った。 ⑤簡易水道統合整備事業の資金計画を作成した。 ⑥水道料金等の徴収を外部委託にした。		

	基本事業名	今後の課題	平成28年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1 水道水の安定供給	気象状況等により、表流水の濁度に対応するための浄水場建設及び豊富な湧水の有効 浄水施設は、水需要予測による将来水量を考慮して必要性が高い順に施設更新を必要とするが、水系別に見ると、標準とされる12時間分を確保出来ない水系がほとんどであるため、既存施設を有効に利用できるよう施設の統合も必要である。	水源である湧水の増量・老朽化した浄水場の統合(猿ヶ京簡水・東部簡水)。 猿ヶ京簡水と東部簡水の浄水場を統合し猿ヶ京簡水の水給区域を拡張していく(平成28年度～平成30年度)安定した水道水の供給を目指すための送水管の布設。(平成29年度～平成32年度) 平成28年度実施 ・猿ヶ京簡水浄水場建設に入る。(3,500㎡/日処理予定) ・上水道浄水場(電気計装機器一式)工事
	2 安全な水道水の供給	配水管網での水質管理水準を向上するため、末端給水栓等で水質検査のほかに、定期的な管網での実測調査等を行い、配水圧・残留塩素濃度等の把握に努める必要がある。 みなかみ町内の水道管には石綿セメント管が残っているため、引き続き更新事業を積極的に進める必要がある。湯原地区内は道路改良(融雪道路)と同時に進めて行かなければ、水道事業だけでは事業費が膨大になるため布設替が出来ない状態である。	湯原温泉街の老朽管の布設計画を作成する。
	3 水道事業の健全運営	みなかみ町では経費の削減に努めながら、水源開発やこれに伴う施設整備に多くの投資を行っている。今後の事業運営は、料金収入の増加が見込まれない中で、水道施設の更新・改良時期を迎えているため、経営基盤を一層強化していく必要がある。このため資金の確保、企業債残高の削減に計画的に取り組み、財政バランスを見ながら効率的な事業運営に努めていく必要がある。	資金を確保するため、起債・合併特例債を計画的かつ有効に活用する。 豪雪地区の認定検針避けるための無線検針に変え冬も確実に検針を行い料金徴収に反映させる。(水上地区メーター機交換は平成27年度にはほぼ終了するため平成28年度から本格的に稼働したい)

17 水道の整備

17-01-000001 原水及び浄水事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円					
予算科目 会計 款				項 目									
事業概要	手段と実績	原水及び浄水施設の管理 水質検査			対象	みなかみ町の水源・配水池・ポンプ場等			意図	施設の巡視及び維持管理 異常事態の早期発見(軽微な修理)			
		水源点検	平成25年度	平成26年度		単位	施設数	平成25年度		平成26年度	単位	水源点検	平成25年度
			20	20	日		176	176	箇所		20	20	日
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="radio"/> 有効性 <input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="radio"/> 公平性				<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携				コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	ほぼ計画どおり進んできている。				予算の範囲内で事業を執行する。				特になし。				
	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策				

17-01-000002 配水及び給水事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円					
予算科目 会計 款				項 目									
事業概要	手段と実績	配水施設を適切に維持管理した。(電気計装・配水ポンプ・配水管)他			対象	配水施設			意図	配水施設を適切に維持管理する。			
		配水施設の点検回数	平成25年度	平成26年度		単位	維持管理している配水施設数	平成25年度		平成26年度	単位	配水施設の事故により断水した回数	平成25年度
			400	400	箇所		71	71	箇所		0	0	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="radio"/> 効率性 <input type="radio"/> 公平性				<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携				コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	何とか問題もなく維持管理は進んでいるが、危険性も乏めない				民間委託の導入を考えていくことも、効率化と経費の削減にもつながるのでは無いか。				予算の配分方法・職員に配置関係など見直すことが多く出てくる。				
	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策				

17-01-000005 道路拡幅工事等にとまう水道管移設事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円					
予算科目 会計 款				項 目									
事業概要	手段と実績	農道工事に伴う移設工事(師田地内)			対象	既設配水管			意図	支障箇所の移転			
		配水管布設工事	平成25年度	平成26年度		単位	当該年度配水管布設計画延長	平成25年度		平成26年度	単位	給水区域内の布設工事	平成25年度
			100	150	m		100	150	m		1	1	箇所
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="radio"/> 効率性 <input type="radio"/> 公平性				<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携				コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下				
	道路工事が発生した時点で事業が発生する。				工事の仕様を統一し、効率化を図る。				地区毎に違いのある工法等を見直し統一を目指す。				
	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策				

17 水道の整備

17-02-000001 簡易水道連絡管布設事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円										
予算科目 会計 款 項 目				項 目				項 目										
事業概要	手段と実績			対象	配水管布設			意図	上羽場地区の水の供給を安定させる。									
	平成26年度は実績なし																	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等			目的妥当性			有効性			効率性			公平性			コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策										
予算の範囲内で適正に事業執行ができています。				他事業と連携し経費削減を図る。				財政難から事業費の確保が困難である。										

17-03-000002 水道料金賦課徴収事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円										
予算科目 会計 款 項 目				項 目				項 目										
事業概要	手段と実績			対象	簡易水道事業の出納			意図	水道事業の財産状態及び経営状況を明らかにし、水道事業の会計を適正に執行する。									
	①検針員と委託契約業務 ②隔月検針業務 ③納付書の郵送																	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等			目的妥当性			有効性			効率性			公平性			コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策										
検針員研修会の開催				給水戸数				水道料金収納率										
平成25年度 平成26年度 単位				平成25年度 平成26年度 単位				平成25年度 平成26年度 単位										
1 0 回				7,800 7,800 戸				80 80 %										
口座振替のピーアール及びコンビネ納付システムの導入を進めていきたい。				コンビネ納付の導入により、納付の利便性が向上される。				滞納数を減少する方法としてコンビネ納付考えていかなければならない、だが経費の増加も付いてくる。										

17-03-000003 水道料金審議会事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円										
予算科目 会計 款 項 目				項 目				項 目										
事業概要	手段と実績			対象	みなかみ町の給水区域住民			意図	町長の諮問について答申									
	水道料金審議会																	
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等			目的妥当性			有効性			効率性			公平性			コスト		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策										
審議会開催回数				水道料金審議員				議題数										
平成25年度 平成26年度 単位				平成25年度 平成26年度 単位				平成25年度 平成26年度 単位										
0 0 回				0 0 人				0 0 件										
今年度は問題なし。				審議会からは水道事業の安定経営をしていくには料金改定は欠かせないと言う答申はできているが、町として行動になかなか移せない				町は料金改定をしなければならないが、現状を考えるとなかなか先に進めない。										

17 水道の整備

17-03-000004 水道事業消費税申告納付事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円																														
予算科目 会計 款				項 目																																		
事業概要	手段と実績	消費税込納付事務			対象	上水道会計にかかった消費税			意図	上水道事業の適正な申告を行う。																												
		申告回数	平成25年度	平成26年度		単位	確定申告額(納税額)	平成25年度		平成26年度	単位	遅延なく納入出来たか	平成25年度	平成26年度	単位																							
		2	2	回			12,000	19,313	千円			100	100	%																								
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×		低下	×	×
		コスト																																				
	削減	維持	増加																																			
成果	向上																																					
	維持	○	×																																			
	低下	×	×																																			
全体総括		消費税法による申告のため引き続き行う必要がある。			今後の改革改善案			消費税法納入方法をわざわざ外注事務事業にすることはなく、職員の申告作業で十分であるため。			課題とその解決策																											

17-03-000005 日本水道協会参画事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円																														
予算科目 会計 款				項 目																																		
事業概要	手段と実績	会議及び研修会等に参加			対象	加入団体の職員			意図	会議や研修会に参加し、事業運営のために必要な知識を習得し、使用者に対し安全安心な水道水の供給を図る。																												
		会議・研修会等への参加回数	平成25年度	平成26年度		単位	職員数	平成25年度		平成26年度	単位	会議・研修会等への参加延べ数	平成25年度	平成26年度	単位																							
		1	1	回			10	8	人			1	1	人																								
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×		低下	×	×
		コスト																																				
	削減	維持	増加																																			
成果	向上																																					
	維持	○	×																																			
	低下	×	×																																			
全体総括		今後も積極的に参加する。			今後の改革改善案			負担金事業の為事業量の改革及び町ではなにも出来ない			課題とその解決策																											

17-03-000006 利根沼田簡易水道協会参画事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円																														
予算科目 会計 款				項 目																																		
事業概要	手段と実績	会議及び研修会等の出席			対象	水道事業の情報収集研修会			意図	必要な情報の習得																												
		会議・研修会等への参加回数	平成25年度	平成26年度		単位	必要情報率	平成25年度		平成26年度	単位	情報の習得割合	平成25年度	平成26年度	単位																							
		4	3	回			100	100	%			100	100	%																								
評価結果と今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input checked="" type="radio"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input checked="" type="radio"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input checked="" type="radio"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×		低下	×	×
		コスト																																				
	削減	維持	増加																																			
成果	向上																																					
	維持	○	×																																			
	低下	×	×																																			
全体総括		水道事業をすすめるにはあまり関係ないような気がする。			今後の改革改善案			利根沼田簡易水道協会に加入しているので団体の事業を進める。			課題とその解決策																											
											町単独でどうにかなる問題ではないので、すぐに簡素化出来ない。																											

17 水道の整備

17-03-000007 水道事業企業債償還事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円																									
予算科目				会計		款		項		目																							
事業概要	手段と実績	上水道事業と当該年度の起債申請許可事務及び借入手続き銀行等資金の調査・起債償還（返済）事務を行う。			対象	①地方債を財源として必要な事業 ②当該年度の財源補填			意図	財源計画に基づき、対象で示した①・②の必要を適正に借入れし、銀行等資金については、より低利なところから借入れを行う。																							
		地方債の借入件数	平成25年度	平成26年度		単位	地方債元利償還支払出来た割合	平成25年度		平成26年度	単位	公債費負担率	平成25年度	平成26年度	単位																		
		1	0	件		100	100	%		100	100	%																					
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×		低下	×	×
			コスト																														
	削減	維持	増加																														
成果	向上																																
	維持	○	×																														
	低下	×	×																														
借上額が非常に多くなってきているが、安定した水道水の供給を保つにはこれで行くしかない。				今後の改革改善案				起債を適正に管理し償還する事務であるため、廃止や拡張等の方向性はないまた、起債借入額は政策判断や財政状況により決定されるものである。																									
課題とその解決策				財務省による申請様式、方法に従って手続きを進めているため、事務の簡素化等の向上については国によるところが大きい。また、借入予定額の決定が年度末のため条件設定や借入手続きなどの事務処理期間が短い点も課題である。																													

17-03-000008 利根漁業協同組合活動費補助事業				担当組織 生活水道課 上水道グループ				事業費 円																									
予算科目				会計		款		項		目																							
事業概要	手段と実績	補償金の支払			対象	給水人口			意図	取水量の確保のため																							
		補償金支払回数	平成25年度	平成26年度		単位	人口	平成25年度		平成26年度	単位	取水量	平成25年度	平成26年度	単位																		
		1	1	回		2,100	2,100	人		430	430	m3																					
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	×		低下	×	×
			コスト																														
	削減	維持	増加																														
成果	向上																																
	維持	○	×																														
	低下	×	×																														
課題とその解決策																																	